KOM2027_TYPE1_08

潤鍼灸院＆CoLoR レンタルシェアスペース



渡部 りょう
Ryo Watanabe

CoLoR 代表
ヨガインストラクター
耳つぼセラピスト

近江商人三方よし度数 ★★★★☆

お店のこだわり（または強み・または転機

「潤鍼灸院」をはじめ、女性や子どもを対象とした美容鍼「翠」、女性特有のゆらぎを整えるサロン「雫」を設けて、女性の健康をトータルでサポート。併設する「CoLoRレンタルシェアスペース」では、14畳のスタジオスペースや6畳のサロンスペースを整え、イベントやワークショップなど、さまざまな用途でご利用いただけます。

今後のビジョン

女性の「叶えたい明日」を実現できる場所=CoLoR
女性のみなさんの心身を癒し、挑戦をサポートします。地域の方と一緒にCoLoRマルシェなどのイベントを企画開催したりと地域と繋がりながら、市外や県外の人たちも集まれる場所にしていくことで能登川駅前を盛り上げていきたいと考えています。



潤鍼灸院 & CoLoR レンタルシェアスペース

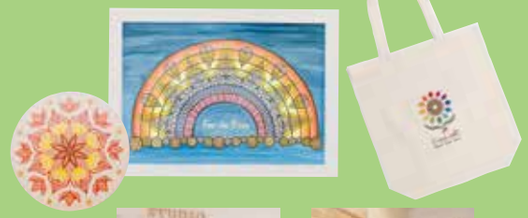
創業年度	2015年
事業内容	地域の人達の健康をサポートする潤鍼灸院 地域のコミュニティとなるレンタルスペース
従業員数	5名（本人含む）
本社住所	滋賀県東近江市垣見町760
	TEL 0748-43-0789

防災取組み　一番大きな棚を倒れないものに変更したり、飲料水を常備、あめ（糖分補給）を常備。ベッド、ヨガマット、毛布もあるので、いざという時に寝泊まりも可能。

あまり人には知られてない裏の顔



好きな言葉や座右の銘	自分と未来は変えられる
趣味や習慣	寝る前のヨガ・セルフネイル マルシェめぐり・カラフルな服探し セルフ耳つぼジュエリー
個人的にチャレンジしたいこと	ものづくりにチャレンジしたい （まずはビーズアクセサリーから・・）
自分を何か（動物など）に例えると?	--
自分の長所	人に頼れるところ
地元で好きな場所	遮るものがない田園風景
秘密の数	5つくらい









サロンスペース／6畳

街を、女性を、自分自身を
もっとビビッドに、カラフルに彩る

CoLoR Rental Share Space

養護教諭から転身、女性と子どもに寄り添うサポーターに

「潤鍼灸院」は鍼灸師の兄が院長を務めており、利用者さんと接するなかで不調を訴える女性の多さが気になっていたそうです。私は養護教諭として9年間働くうち、ケアのあり方を考えるようになり、私自身をいったんリセットするために退職。ヨガの資格を取得すると共に、女性の健康を応援したいという兄の思いに賛同して、この空間づくりに関わることになりました。



スタジオスペース／14畳

派手なファッションや、目立つことが好き！

花柄とストライプの柄×柄でコーデしたり、金髪に紫のメッシュを入れたり。ビビッドな原色系を取り入れた、カラフルなファッションが私の定番。目立つことも好きで、学園祭ではリーダーに立候補したり、ファッションサークルを立ち上げたこともあります。



高校生に授業



USJにて

育児がひと段落したら ものづくりにチャレンジ！

「滋賀女子カクメイ」の活動に刺激を受け、ビーズジュエリーをちまちま作り始めたところ「こういう細かい作業、好きかも！」。でも今は子どもが小さいので、ビーズを出すと大変なことになりそうで。育児が落ち着くその日まで、ビーズは大切にしまっています。



学生たちの引率

KOM2027_TYPE1_09

Mu-Mu pink ♡♡♡



森 菜実子

Namiko Mori

ピンクデザイナー

近江商人三方よし度数 ★★★★★

お店のこだわり（または強み・または転機）

田んぼに囲まれた集落にある一軒家を、壁・床・天井・屋根に至るまでピンクでカラーリング。「ここでしか手に入らないもの」「ここでしか感じられない世界観」を大切にしています。ヴィンテージのカップ&ソーサーで紅茶と自家製のケーキやアイスクリームを一緒に楽しむ「Mu-Mu　teatime」も開催。心ときめく特別な時間を提供しています。

今後のビジョン

日本にとどまらず、世界中のピンクや可愛いものが好きな方へ、Mu-Muのアイテムをお届けするのが目標。自分自身もさまざまな国を訪れ、お客さまと直接お会いできる機会を増やしていきたいと考えています。



Mu-Mu pink ♡♡♡

創業年度	2020年（ブランドは2013年～）
事業内容	ピンクアイテム制作・販売小売業
従業員数	2名（本人含む）
本社住所	滋賀県彦根市日夏町1615-2
	TEL 080-8331-3034

防災取組み　配偶者が消防団に入団しているため防災に関する知識をその都度共有しています

あまり人には知られてない裏の顔



好きな言葉や座右の銘	ステップバイステップ
趣味や習慣	ピンクアイテム集め・海外へ行くこと（旅） 「ショドフ」のピンクポーセリンの食器集め マイクロカーでドライブ
個人的にチャレンジしていること	タイ語を話せるようになりたい
自分を何か（動物など）に例えると?	ネコ
自分の長所	超ポジティブ（落ち込む時間よりも「どうすれば良くなるか」を考えることができる）
地元で好きな場所	琵琶湖が見える湖岸道路
秘密の数	10個くらい?

タフ&ホットなメンタルを秘めたピンクパワーの伝道師。

バックパッカーとして世界の果てまで

20代の頃から、バックパッカースタイルで世界各国を旅行。時にはヒッチハイクや野宿も経験しました。自分のブランドを立ち上げるために退職した時、世界一周の旅をしていたパートナー（現夫）と現地で合流。パタゴニアの陸の孤島のような村で、自給自足をするおじいさんと1カ月ほど共同生活をしたこともあります。うまく薪が割れないときなど、そのおじいさんが「焦らずひとつずつやれば、ちゃんと形になっていくよ」と。口癖のように言っておられた“ステップバイステップ”は、今も仕事と向き合うときの教訓になっています。

すべてがピンク！ ピンク！ ピンク！

大好きなピンクに特化したブランディングをしていく過程で、私と夫のビジュアルから、お店の外観やインテリアまで、ピンク度がさらにアップ。他の色がまぎれこむと、ちょっとそわそわ、ドキドキしちゃいます。今の楽しみは、夫とピンクのマイクロカー2台で湖岸をドライブすること。たくさんの方から注目され、お声をかけていただくようになって、ピンクパワーを改めて実感しています。













Crepier Cono（クレッピエ コノ）



吉永 小の実

Konomi Yoshinaga

代表
パティシエ／製菓衛生師

近江商人三方よし度数 ★★★★★

お店のこだわり（または強み・または転機）

近江米・米粉100%の生地を使用したクレープ&ガレットのお店です。東近江の野菜やフルーツ、政所茶なども使い、アレルギーの方にも食べていただけるよう、卵・乳製品・小麦不使用のメニューを開発して提供。クレープは15種類以上、ランチセットなども楽しめます。イートイン、テイクアウトのほか、24時間購入できる冷凍アイスクレープの自販機も設置しています。【定休日】火・水・木

今後のビジョン

誰もが安心しておいしく召し上がっていただけるメニューと、楽しい時間を過ごせるお店づくりを、これからも目指していきます。



Crepier Cono（クレッピエ コノ）

創業年度	2014年
事業内容	近江米 米粉100%のクレープ&ガレットの販売（店内13席） テイクアウト有、冷凍自販機有・イベント出店
従業員数	1名（本人含む）
本社住所	滋賀県東近江市山上町2927-1
	TEL 0748-27-0147
防災取組み	避難経路と避難場所を把握し、お客さまをいつでも迅速に誘導できるようにしている

あまり人には知られてない裏の顔



好きな言葉や座右の銘	美味求真
趣味や習慣	食の探究
個人的にチャレンジしていること	本物の美味しさを追求すること
自分を何か（動物など）に例えると?	みつばち
自分の長所	一つのことをやり切ること
地元で好きな場所	永源寺から見える山（綿何山（ワタヌキヤマ）・雨乞岳（アマゴエタケ））、景色
秘密の数	ナイ！








お家で楽しめるアイスクレープ


アイス米粉クレープの冷凍自販機


近江米 米粉100%の生地


照りチキ豆乳マヨ
&永源寺こんにゃくと根菜


えびアボカド米粉100%ガレット







米粉カスタードシェイク


店内テーブル席




米粉100% 政所茶と白玉もちクレープ

娘と過ごす時間を原動力に、ひたすら“美味”を追い続ける

初めてスイーツを作ったあの日から お菓子づくりしか見えない

小学生ごろから自分で作ったスイーツを食べてもらい笑顔になり喜んでくれた姿が忘れられず、その頃から自分で考え作ったスイーツをみんなに食べてもらいたい。自分の店を持ちたいと思いました。それから猛勉強をして、京都製菓技術専門学校へ。多くの経験や修行を経て、自分の店を持つという夢が実現できました。
ずっとお菓子づくり一筋で、大人になった今もそれしか見えない。
食を探求し、本物のおいしさを追い求め続ける。
それが、私の変わらぬ想いです。

どんな時も、どんな私でも娘が一番の味方

いつも仕事に追われていますが、最も大切にしているのが愛する娘と過ごすこと。体を動かすのが大好きな娘と一緒に、公園に行ったり、お店屋さんごっこをしたり。笑って、怒って、癒されて、その一瞬一瞬が楽しく幸せな時間です。特に嬉しかったのは、「なんでも言うて！どんなママも助けてあげるから」という娘からの言葉。いつも私の味方だと言ってくれる娘は、私の原動力であり、かけがえのない存在です。